

かけはし

発行日：令和8年3月19日

(発行者)
学校運営協議会会長
但田 勝義
(紙面編集)
学校運営協議会事務局
宮本このみ

令和7年度 第3回学校運営協議会開催

令和8年3月4日(水)本校図書ホールにて、令和7年度北海道稚内養護学校第3回学校運営協議会を開催しました。協議会では、令和7年度学校評価、令和8年度学校経営方針(案)、令和7年度卒業生進路、令和7年度いじめ調査、令和8年度教育課程について、説明及び報告し、皆様からご意見をいただきました。また、グループに分かれて「児童生徒の将来像を想像し、共有する。」をテーマに熟議をしていただきました。



学校評価では、声問小学校末村校長

より、「保護者からの高評価は、教職員一人ひとりが積極的に学校経営へ参画している現れだと思う」と感想をいただきました。

経営方針(案)では、稚内大谷高等学校木村教頭より、「児童生徒、校長先生含め全体の雰囲気が高く、教職員の高い意識が学校評価の数値に表れている」というお言葉や「養護学校の児童生徒との関わりや学びを、大谷高校の教職員にどう繋げていくか考えなければいけない」「重点目標については、大谷高校にとっても切り離せない重なる部分があるため、取り組んでいきたい」と感想をいただきました。

熟議では、「児童生徒の将来像を想像し、共有する」をテーマに、グループに分かれて、本校生徒が卒業後、どのような力が身に付いていると良いか、意見をいただきました。「挨拶や笑顔、健康など基本的な部分が大切であり、必要な力であると共通認識され、仕事なので休まず働くことが重要である」ことや、「本人の働きたい気持ちの持続や、子どものやってみたいという気持ちを見付ける、得意なことを見付ける、そういったことができる環境を整えることが必要である」「子ども達が自分自身の強みや個性を周りに発信する力、それに気付いてあげることで将来の充実に繋がる」という意見が出され、本校の教員の意見だけでなく、地域や本校卒業生の保護者といった別の立場からの意見を伺うことができました。



本協議会をもって、第3回学校運営協議会が終了となり、委員の皆様には、本校教育にご尽力いただき、大変感謝申し上げます。

次年度につきましても、皆様のお力添えをいただきながら、学校教育目標「人々とかかわりながら、社会で役割を担う元気な人を育てる」を達成できるよう取り組んで参ります。